



2021年3月期
第1四半期
決算説明資料

2020年8月7日
株式会社 セブン銀行

Today's Agenda

1

新型コロナウイルス感染症の影響

2

2021年3月期 第1四半期決算

3

2021年3月期 業績予想

Today's Agenda

1

新型コロナウイルス感染症の影響

2

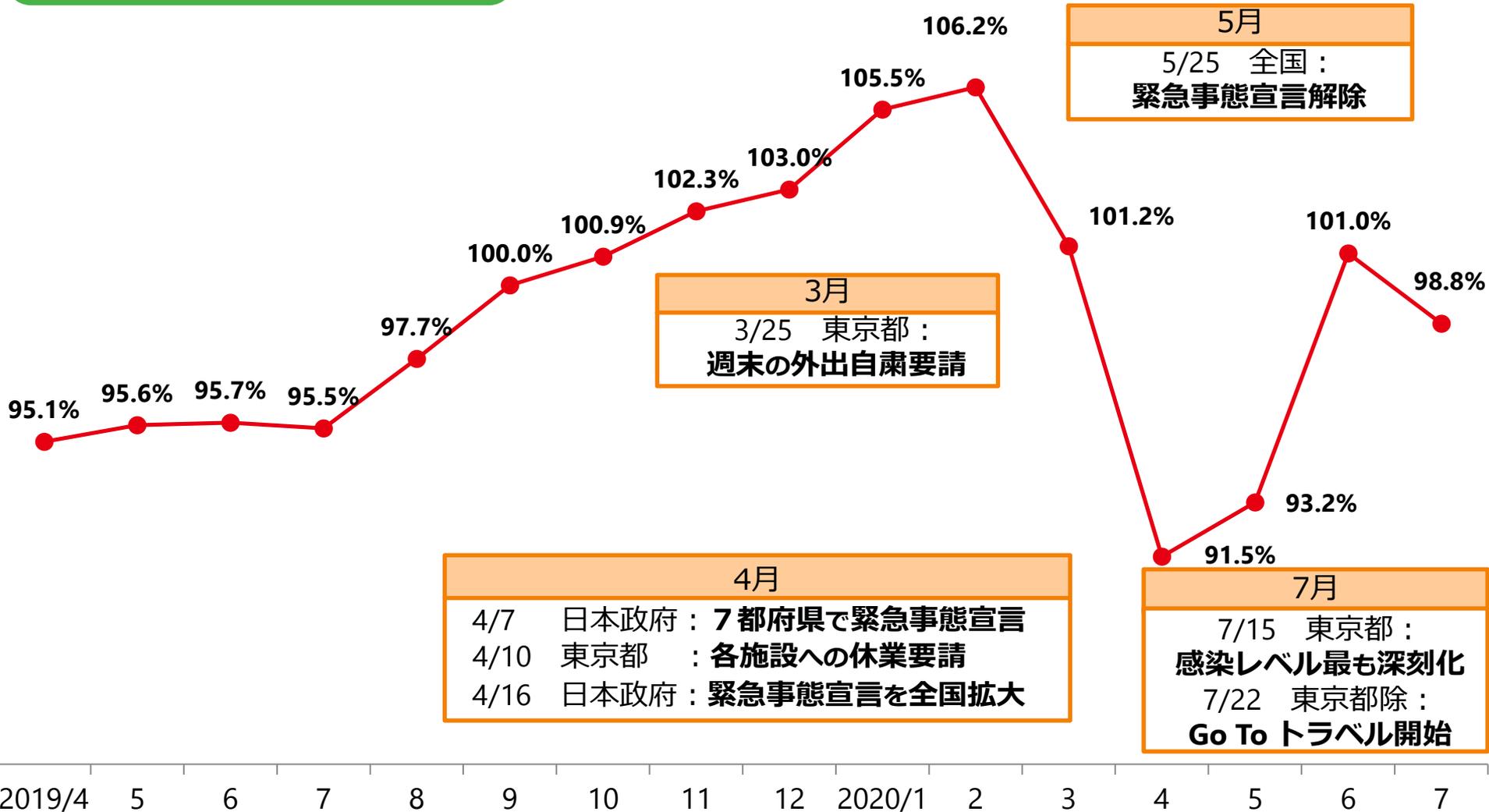
2021年3月期 第1四半期決算

3

2021年3月期 業績予想

緊急事態宣言解除以降、ATM利用件数は回復傾向も予断を許さない状況

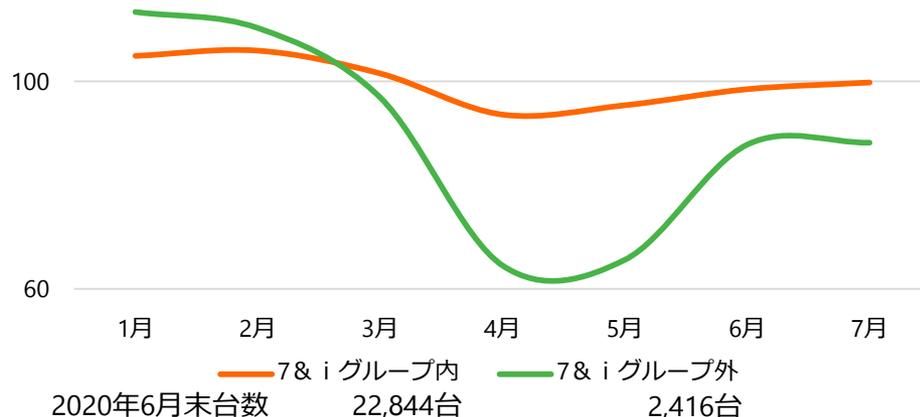
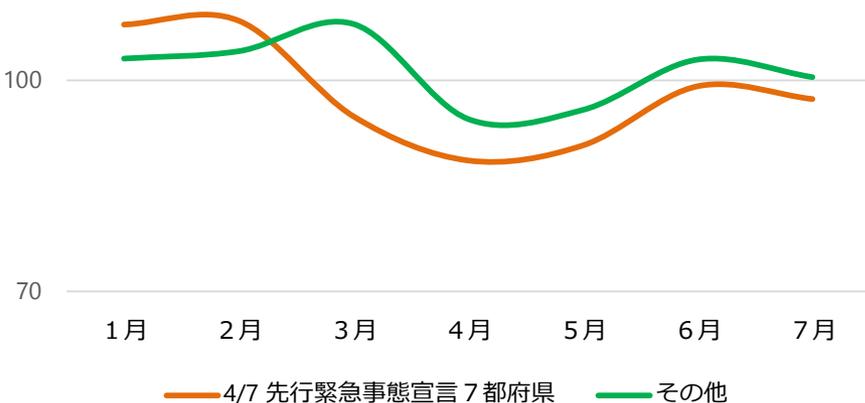
ATM平均利用件数 前年同月比



ATM平均利用件数 前年同月比

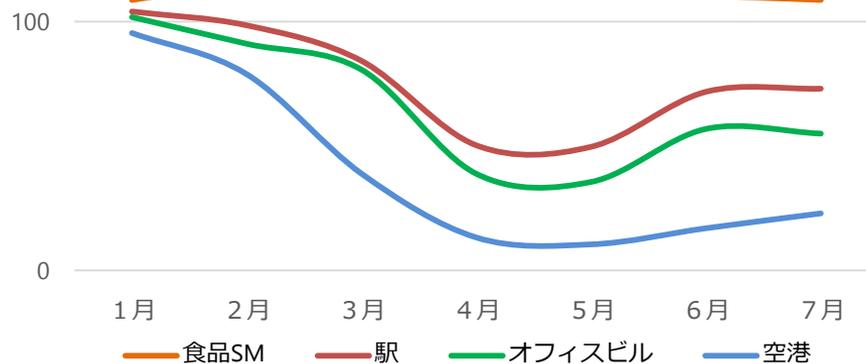
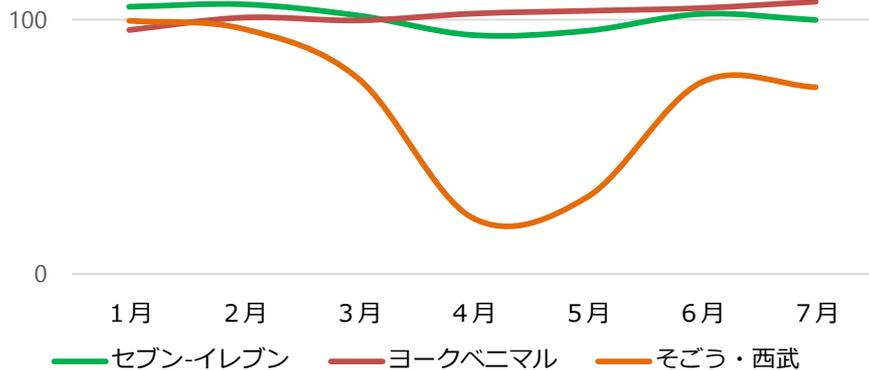
全国-エリア比較

7&iグループ内外比較



グループ内-店舗別比較

7 &iグループ外-設置先別比較



対応方針

- お客さま・お取引先さま・従業員の**安心・安全**を第一に
- **社会インフラ**として「止まらない」ATMサービスの安定運用
- **コロナとの共存**の中で、社内の業務プロセス、働き方、経営管理を含め**様々な変革を推進**

戦略

Withコロナ/Afterコロナを見据えた対応

コロナを機に変化が加速

リモート・非対面

キャッシュレス

オンライン

デジタル

多様な選択肢が求められる世界

- 将来の成長に不可欠な施策を着実に積み上げ



Today's Agenda

1

新型コロナウイルス感染症の影響

2

2021年3月期 第1四半期決算

3

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 第1四半期決算

➤ 連結・単体（セブン銀行）ともに減収減益

- **コロナ禍**を主因にATM利用件数減
 (1Q期間ATM総利用件数前年比 日本△4.8% 米国△7.9%)

➤ 連結子会社による利益貢献

- 米国子会社FCTIは資金調達費用等の抑制効果で**増益達成**
- 経常利益 連結 83億円 > 単体 81億円
 純利益 // 67億円 > // 56億円

➤ 減収減益

(単位：億円)

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年差異	前年比
	経常収益	368	330	△38
経常費用	257	246	△11	△4.2%
経常利益	111	83	△28	△25.2%
純利益	76	67	△9	△11.8%

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル：2020年3月期第1四半期 = 110.22円、2021年3月期第1四半期 = 108.86円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する純利益

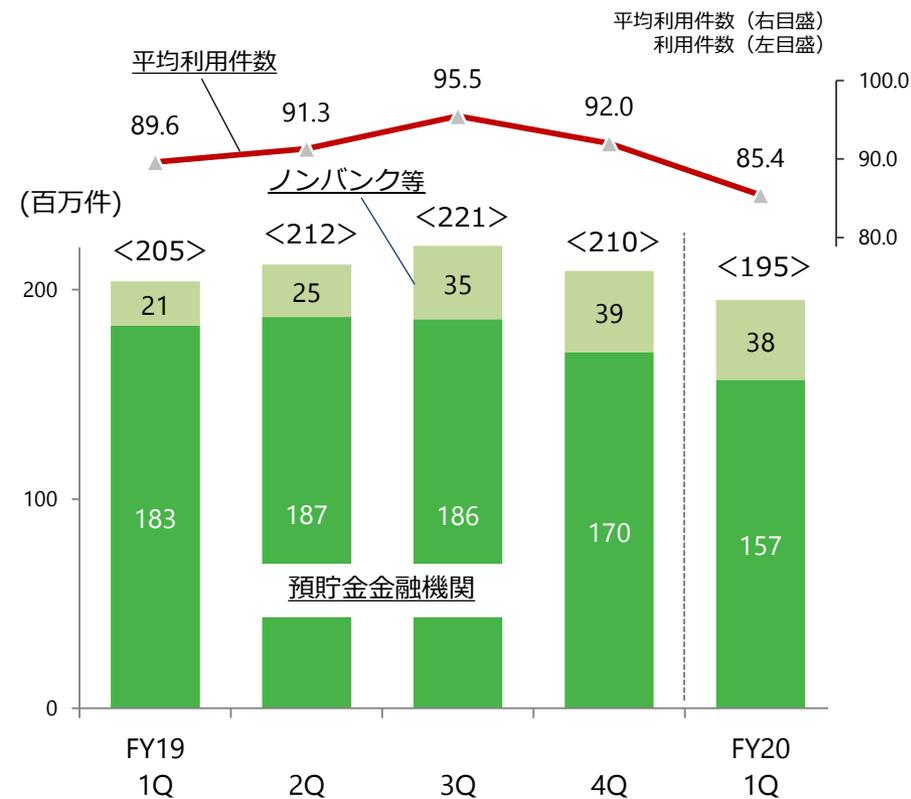
➤ 減収減益

(単位：億円)

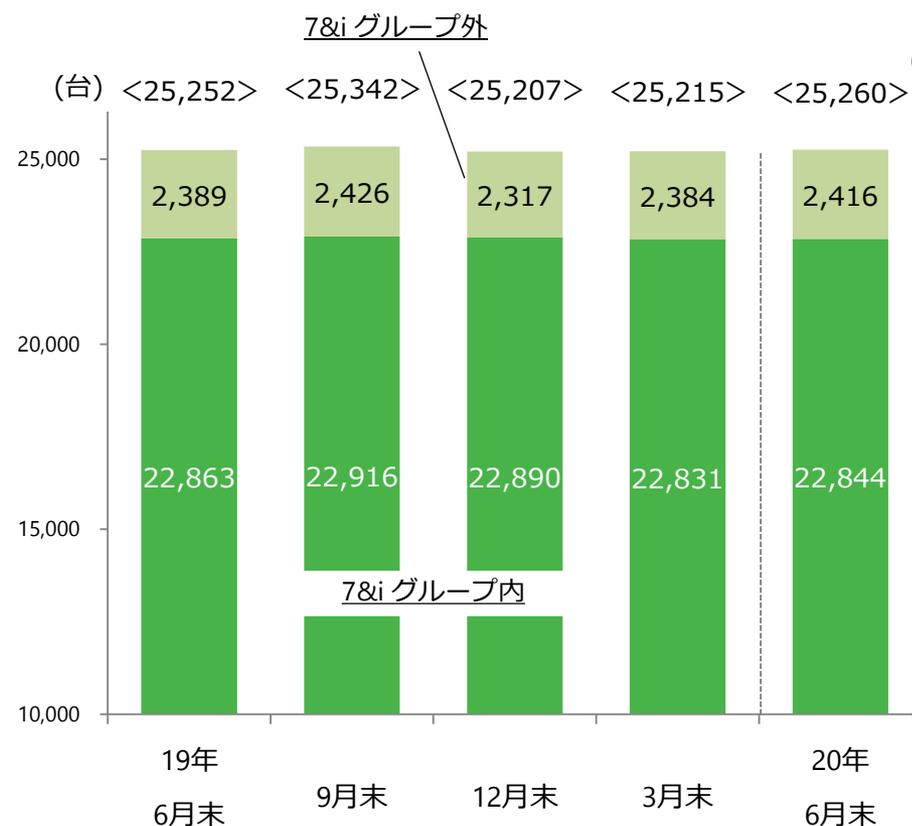
	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期		
			前年差異	前年比
経常収益	298	265	△33	△11.0%
うちATM受入手数料	270	238	△32	△11.8%
経常費用	184	184	△0	△0.0%
経常利益	113	81	△32	△28.3%
純利益	78	56	△22	△28.2%
EBITDA	148	112	△36	△24.3%
期末ATM設置台数 (台)	25,252	25,260	8	+0.0%
ATM受入手数料単価 (円)	135.0	124.8	△10.2	△7.5%
平均利用件数 (件/台/日)	89.6	85.4	△4.2	△4.6%
総利用件数 (百万件)	205	195	△10	△4.8%

注) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

ATM利用件数と平均利用件数の推移



ATM台数の推移



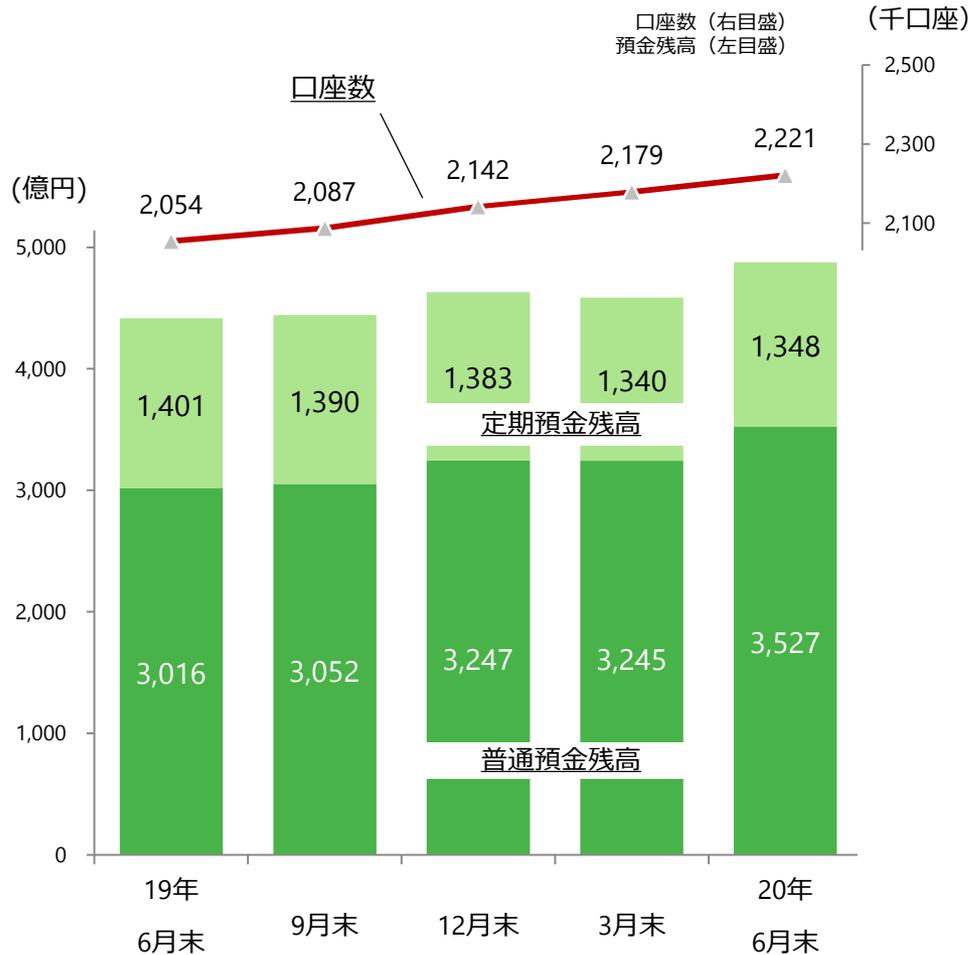
注1) ATM利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

注3) FY20_1Q ATM受入手数料単価124.8円

ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	19年 6月末	20年 6月末
期末残高 (億円)	228	226

海外送金サービス

	19年 1Q	20年 1Q
取引件数 (千件)	291	283

デビットサービス

	19年 1Q	20年 1Q
取引件数 (千件)	3,133	4,212

●●Payチャージ取引状況

キャッシュレス・消費者還元事業終了後も安定推移：一定のサービス認知獲得

事業会社 取引件数推移

2019年9月の利用件数を基点とした推移グラフ



利用可能な●●Payチャージ例

au PAY



d払い



PayPay



Pay

LINE

Pay

キャッシュレス・消費者還元事業

従来の概念を超えた新しいATMの価値創造

『ATM+』の世界を開拓

・現金を超えたサービスの実現

ATM+

できたらいいなを、
プラスしていく。

デジタルサービスをリアルな接点から支える端末へ

ATMでマイナポイント事業へ参画

マイナポイント：政府がキャッシュレス決済サービスを提供する決済事業者を通じて期間限定で付与するポイント

セブン銀行ATMで簡単に「マイナポイントの予約と申込み」が可能

※2020年8月31日サービス開始予定

取引手順イメージ

- ① 決済手段のIDを手入力（または電子マネー媒体をセット）
- ② 決済手段のIDに紐づくセキュリティコードを手入力（電子マネー媒体は入力不要）
- ③ マイナンバーカードをATMに挿入
- ④ 暗証番号を入力（公的個人認証 利用者証明用パスワード）



(単位：百万米\$)

➤ 減収増益

	2019年12月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期		
			前年差異	前年比
経常収益	63.4	58.1	△5.3	△8.3%
経常費用	62.0	53.7	△8.3	△13.3%
経常利益	1.3	4.3	3.0	+230.7%
純利益	1.2	4.2	3.0	+250.0%
EBITDA	3.0	6.0	3.0	+100.0%
期末ATM設置台数 (台)	12,374	10,759	△1,615	△13.0%
うちSEI設置台数	8,352	8,480	128	+1.5%
平均利用件数 (件/台/日)	41.7	44.7	3.0	+7.1%
うちSEI設置	55.0	53.1	△1.9	△3.4%
総利用件数 (百万件)	47.7	43.9	△3.8	△7.9%

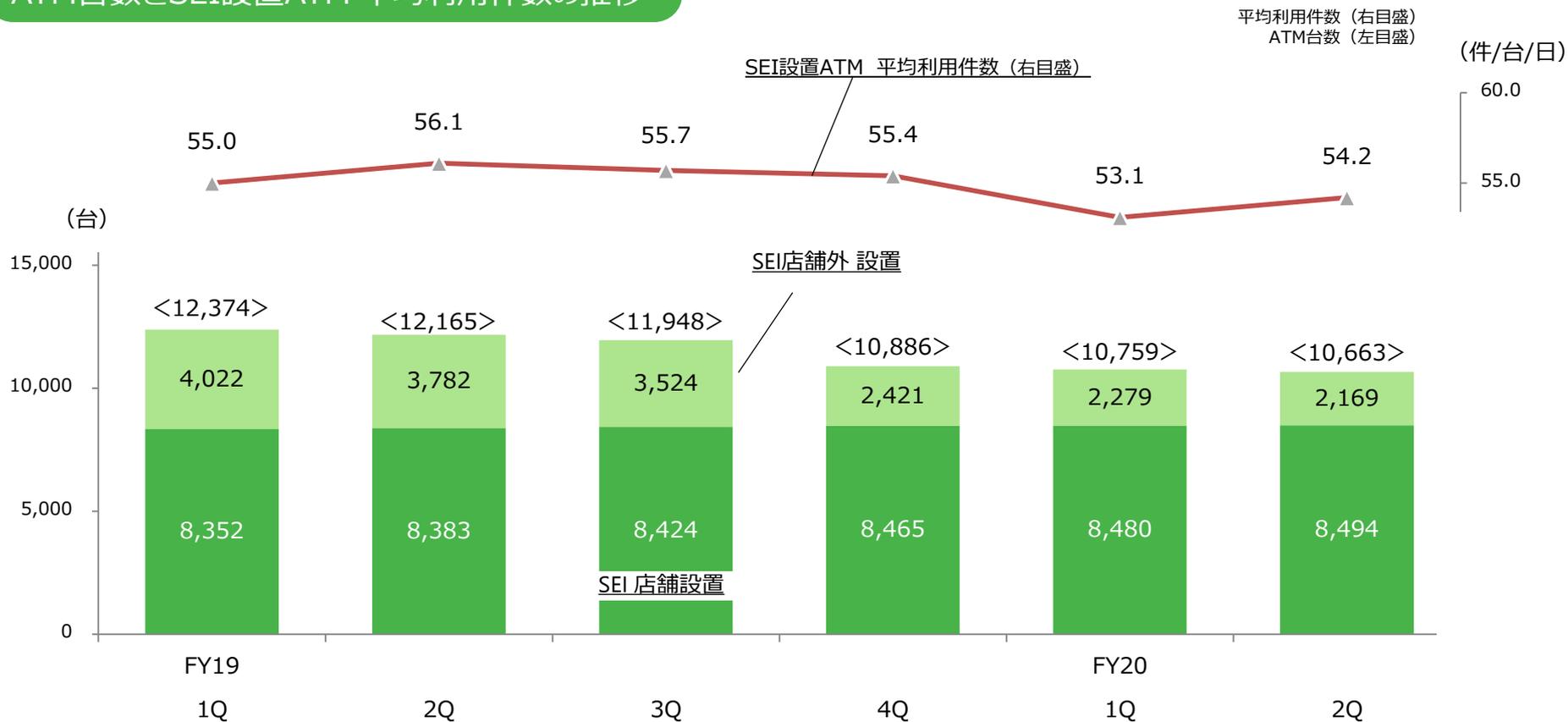
注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 2020年6月末時点のATM台数 = 10,663台 (速報値)
SEI内：8,494台、SEI外：2,169台

注3) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

米国ATM 計数 <FCTI>

ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の推移



- 2020年3月米国の国家非常事態宣言以降、ATM利用件数は低下も足許では回復
- 米国セブン-イレブン店舗は社会インフラとして営業継続

注1) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

注2) FY20 2Qは速報値

Today's Agenda

1

新型コロナウイルス感染症の影響

2

2021年3月期 第1四半期決算

3

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想

➤ 算定的前提条件は次頁

連結		単体	
経常収益	1,342億円 (前年同期比 △143億円 △9.6%)	経常収益	1,098億円 (前年同期比 △104億円 △8.6%)
経常利益	328億円 (" △70億円 △17.5%)	経常利益	324億円 (" △126億円 △28.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	230億円 (" △31億円 △11.8%)	当期純利益	224億円 (" △52億円 △18.8%)

2021年3月期 配当予想

➤ 前年度配当額を維持

- 中間5.50円、期末5.50円、年間11円

業績予想算定の前提条件

	今後の見通し
感染者数	更なる感染拡大や第2波への強い懸念
経済活動 消費行動	徐々に再開も厳しい状況
在宅勤務	30-40% 状況によっては拡大
行楽・繁華街 イベント開催	感染状況に応じ規制 → 3密回避（ニューノーマル）
インバウンド	入国規制 → 一部緩和の可能性

- 経済の先行きは**極めて不透明**
- 当第2四半期以降も更なる感染拡大や長期化が懸念され、少なくとも当年度中は行動自粛や新しい生活様式の**事業環境に与える影響が残る**
- ATM利用件数は**足許の状況と同程度**で推移すると見込む

損益状況 <連結>

(単位：億円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 計画 (2020年8月公表)			
	通期	上期	通期	上期		
				前年差異	前年差異	
経常収益	1,485	745	1,342	△143	678	△67
経常費用	1,087	543	1,013	△74	497	△46
経常利益	398	201	328	△70	180	△21
純利益	261	130	230	△31	126	△4

注1) 連結損益の為替レート

1米ドル：2020年3月期実績 = 109.03円、2020年3月期上期 = 110.06円、2021年3月期計画 = 108.00円

注2) 純利益は親会社株主に帰属する純利益

損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 計画 (2020年8月公表)			
	通期	上期	通期	上期		
				前年差異	前年差異	
経常収益	1,202	602	1,098	△104	548	△54
うちATM受入手数料	1,087	545	980	△107	491	△54
経常費用	752	369	773	21	378	9
うち資金調達費用	6	3	6	△0	2	△1
うちATM設置支払手数料	157	79	159	2	79	△0
うち業務委託費	189	93	208	19	101	8
うち保守管理費	37	18	41	4	19	1
うち減価償却費	136	69	130	△6	62	△7
経常利益	450	232	324	△126	169	△63
特別損失	51	26	0	△51	0	△26
法人税等合計	122	63	99	△23	50	△13
純利益	276	142	224	△52	118	△24
EBITDA	586	301	455	△131	232	△69

注) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

主要計数 <セブン銀行>

	2020年3月期 実績		2021年3月期 計画 (2020年8月公表)			
	通期	上期	通期	前年差異	上期	前年差異
期末ATM設置台数 (台)	25,215	25,342	25,515	300	25,300	△42
ATM受入手数料単価 (円)	130.9	133.8	124.0	△6.9	124.4	△9.4
平均利用件数 (件/台/日)	92.1	90.5	87.5	△4.6	87.6	△2.9
総利用件数 (百万件)	849	417	807	△42	403	△14
個人口座数 (千口座)	2,179	2,087	2,400	221	--	--
個人向け預金残高 (億円)	4,586	4,443	4,975	389	--	--
個人向けローン残高 (億円)	232	229	260	28	--	--

損益状況 <FCTI>

(単位：百万米\$)

	2019年12月期 実績		2020年12月期 計画 (2020年8月公表)			
	通期	上期	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	254.0	128.0	213.0	△41.0	114.3	△13.7
経常費用	247.7	128.6	194.4	△53.3	100.8	△27.8
うち資金調達費用	35.2	19.1	16.9	△18.3	10.2	△8.9
うちATM設置支払手数料	139.7	70.6	112.9	△26.8	58.2	△12.4
うち業務委託費	17.4	8.9	15.2	△2.2	8.1	△0.8
うち保守管理費	17.4	8.6	15.3	△2.1	8.1	△0.5
うち減価償却費	6.7	3.3	6.8	0.1	3.3	0.0
経常利益	6.3	△0.6	18.6	12.3	13.5	14.1
特別損失	△0.5	△0.4	△2.0	△1.5	△0.0	0.4
純利益	6.6	△0.3	20.5	13.9	13.5	13.8
EBITDA	13.1	2.7	25.5	12.4	16.8	14.1

期末ATM設置台数 (台)	10,886	12,165	8,640	△2,246	10,660	△1,505
うちSEI設置台数	8,465	8,383	8,640	175	8,490	107
平均利用件数 (件/台/日)	43.1	43.7	46.5	3.4	45.1	1.4
うちSEI設置	55.4	55.4	52.6	△2.8	53.7	△1.7
総利用件数 (百万件)	191.6	96.1	171.5	△20.1	88.2	△7.9

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10-12月)

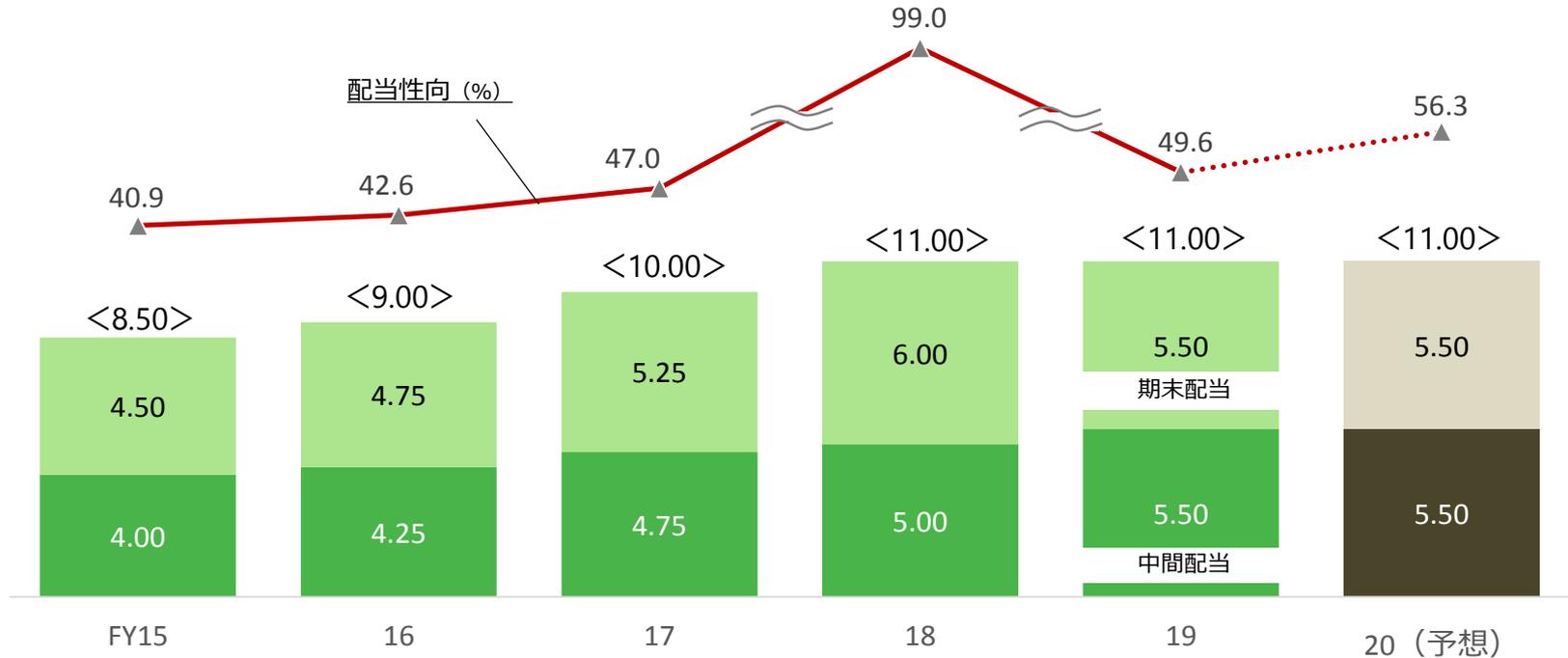
安定的な配当

- 年2回の配当を株主還元の基本とし、配当性向40%以上を最低目標に定め、安定的かつ継続した配当に努める。

配当予想

➤ 2021年3月期予想：年間11円/株（配当総額 約12,970百万円）

配当金・配当性向の推移





本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。